

## 平成 30 年度第 3 回千葉市図書館協議会議事録

1 日 時 平成 31 年 3 月 19 日(火) 10 時 00 分～12 時 00 分

2 場 所 千葉ポートサイドタワー12 階 第2会議室

### 3 出席者

#### (1) 委員

庄司三千子 委員長・吉野知義 副委員長・  
亀山恵美子 委員・吉野精一郎 委員・松尾修一 委員・石渡明子 委員・  
倉沢良典 委員・佐々木雅美 委員・十倉典子 委員・青柳洋治 委員

#### (2) 事務局

小林中央図書館長・高石みやこ図書館長・南雲花見川図書館長・  
石井稲毛図書館長・須田若葉図書館長・深山緑図書館長・中田美浜図書館長・  
太田中央図書館情報資料課長・作田中央図書館管理課長・  
平岡中央図書館管理課担当課長

#### (3) 傍聴人

9 人

### 4 次 第

#### (1) 連絡事項

ア 千葉市地域婦人団体連絡協議会推薦委員について

#### (2) 諮 問 「千葉市図書館の今後の在り方について」

#### (3) 議 事

ア 平成 31 年度予算及び事業計画について  
イ みずほハスの花図書館効果検証報告書(素案)について  
ウ 千葉市図書館に関する市民意識調査報告書(素案)について  
エ 新たな図書館計画の審議スケジュール(イメージ)について

#### (4) その他

ア 外部評価部会員について

### 5 概 要

#### (1) 連絡事項

ア 千葉市地域婦人団体連絡協議会推薦委員について  
→ 千葉市地域婦人団体連絡協議会推薦委員の逝去に伴う欠員について、新たに千葉市民間保育園協議会に推薦依頼し、当団体から推薦された松尾修一委員を委嘱したことについて報告した。

#### (2) 諮 問 「千葉市図書館の今後の在り方について」

→ 図書館法(昭和25年4月30日 法律第118号)第14条第2項の規定により、「千葉市図書館の今後の在り方」について、中央図書館長から図書館協議会委員長へ諮問した。

#### (3) 議 事

ア 平成 31 年度予算及び事業計画について  
(ア) 平成 31 年度当初予算について〔事務局説明〕

- (イ) 平成 31 年度千葉市図書館の事業計画について〔事務局説明〕
- (ウ) (ア)・(イ)についての質疑応答・協議  
→ 提示した内容のとおり承認された。

- イ みずほハスの花図書館効果検証報告書(素案)について
  - (ア) 事務局説明
  - (イ) 質疑応答・協議  
→ 素案のとおり承認された。

- ウ 千葉市図書館に関する市民意識調査報告書(素案)について
  - (ア) 事務局説明
  - (イ) 質疑応答・協議  
→ 素案のとおり承認された。

- エ 新たな図書館計画の審議スケジュール(イメージ)について
  - (ア) 事務局説明
  - (イ) 質疑応答・協議  
→ 提示した内容のとおり承認された。

#### (4) その他

- ア 外部評価部会員について  
→ 吉野知義副委員長(ネットワーク協議会推薦)、石渡明子委員(千葉市文庫連絡協議会推薦)、十倉典子委員(公募委員)の3名が委員長より指名され、外部評価部会員に就任した。

## 6 会議経過

### <開 会>

- 千葉市地域婦人団体連絡協議会推薦委員について報告
- 中央図書館長あいさつ
- 定足数の確認(図書館協議会委員 5 名の出席が必要なところ 10 名出席のため成立)
- 会議の公開についての説明
- 委員長あいさつ

### 〈諮問「千葉市図書館の今後の在り方について」〉

小林中央図書館長 図書館法第14条第2項の規定により、下記の事項について諮問します。

1 諮問事項、千葉市図書館の今後の在り方について。

2 諮問理由、インターネットの普及を受け、地域の情報拠点である図書館の役割が大きく揺らいでいる中、本格化しつつある人口減少による利用需要の縮小への対応に加え、厳しさを増す財政見通しの下、子どもたちの読書環境の充実、図書館機能の強化、図書館サービスの向上と運営の効率化の両立など、様々な課題を解決する必要があり、本市図書館行政は、大きな転換期を迎えている。

そこで、今後、高度情報化社会が一層進み、また、人口減少局面が本格化した

後も図書館が社会的な役割を果たしていくためには、この10年間で重要な時期となることから、将来の社会変化を展望する中で、図書館の果たすべき役割を将来像として描き、これまでのハード・ソフトの計画を1本化し、両面にわたる取組みの方向性を示す、今後の図書館づくりの基本方針となる「新たな図書館計画」を平成31年度末に策定することとなった。

この計画では、子どもから高齢者まで多くの市民が利用する公共施設である強みを活かした特長のある図書館づくりや、地域の実情に応じた身近な図書館づくりの他、地域の課題解決への貢献、地域情報の収集等の機能強化、及び効果的・効率的で柔軟性のある運営基盤の構築など、図書館の将来像を含め、今後の図書館の在り方について、行財政改革の視点を含め検討を行うことから、標記のとおり諮問するものである。

なお、千葉市図書館の今後の在り方を検討する際の、基礎資料となる「みずほハスの花図書館効果検証報告書(素案)」、「千葉市図書館に関する市民意識調査報告書(素案)」は、後ほどの議事(2)、議事(3)でご説明をさせていただきます。また、新たな図書館計画の審議スケジュール(イメージ)は議事(4)でご説明をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

《議事(1) 平成31年度予算及び事業計画について》

庄司委員長 それでは、議事の(1)平成31年度予算及び事業計画について、事務局から説明をお願いします。なお、質疑につきましては、議事の説明後をお願いいたします。

作田管理課長 《平成31年度予算及び事業計画について説明》

庄司委員長 平成31年度予算及び事業計画について説明がありましたが、このことについて、ご質問・ご意見がありましたらお願いいたします。

石渡委員 ご説明ありがとうございました。千葉市新たな図書館計画策定業務委託の予算について伺います。

千葉市ホームページで、千葉市新たな図書館計画策定業務委託について、業務委託仕様書を拝見しました。委託内容として、アドバイザーの推薦、意見聴取の実施、計画策定業務、フォーラムの企画及び運営、千葉市図書館協議会などの支援、パブリックコメント手続きの支援が挙げられています。

質問ですが、計画策定業務において、千葉市図書館の現状と課題の整理という項目があり、みずほハスの花図書館効果検証報告書の確認とありますが、改めてみずほハスの花図書館のことだけについて確認するというのは、どのようなことなのでしょう。

また、フォーラムの企画及び運営、千葉市図書館協議会などの支援が挙げられていますが、図書館協議会に事業者の方が出席して、説明するということでしょうか。

平岡管理課担当課長 新たな図書館計画策定業務委託の中でみずほハスの花図書館に

関する効果検証について確認することですが、第三者である専門家の視点から確認していただくことが趣旨であり、具体については、今後決定する事業者とどのような形で進めていくのか詰めていきます。

なお、計画内容の検討につきましては、図書館協議会での意見等を踏まえて、進めていきたいと考えています。

フォーラムにつきましては、さきほど中央図書館長から諮問させていただきましたとおり、これからの図書館づくりについて、市民の皆様にご理解していただく機会はきちんと設けていきたい、という考えに基づいています。現在考えているのは、大きめの会場で開催し、基調講演やパネルディスカッションを行い、その議論を通じて、会場に来ていただいた方からもご意見をいただきたいと考えています。

これから会場や日程など詰めていくところですが、いずれにしても、普段、図書館に関心のない市民の皆様を含め、計画内容についてご理解をいただく機会をつくりたい、という趣旨でございます。

コンサルタントの図書館協議会での支援ですが、基本的には、図書館職員から説明をさせていただきます。

十倉委員 新たな図書館計画策定業務委託の業務委託仕様書について、もう少し詳しく図書館の方の意見を伺いたいのですが、今回新たな図書館計画を策定するにあたり、初めにみずほハスの花図書館効果検証報告書の確認、次に千葉市図書館に関する市民意識調査報告書の確認を行うなど、これらを前提にしています。千葉市の図書館全体の計画を策定するのに、なぜ限られたデータに基づいて計画を策定しようとしているのか、その考えをお聞かせください。

私が思うには、みずほハスの花図書館は窓口業務委託ですが、中央図書館の分館ということで、選書や委託業務の点検検査等は市でやっていると思います。また、建物自体は市の所有ですし、様々な備品、例えば自動貸出機、ICタグ、タブレット端末、椅子、机など市が購入していると思います。市が行っていることもたくさんありながら、窓口業務委託をしている事業者がすごく頑張っているでしょ、と言っているような印象をすごく持ちます。

最初に戻りますが、新たな図書館計画を策定するために、なぜ最初にみずほハスの花図書館効果検証の確認が出てくるのか教えてください。

平岡担当課長 まず断っておかないといけないのが、みずほハスの花図書館効果検証報告書と千葉市図書館に関する市民意識調査報告書、これだけで計画を策定しようとしているわけではなく、その他にも統計指標など様々な要素がありますので、一つの要素としてお示しさせていただいている、ということです。

今回、新たな図書館計画策定業務委託の中で千葉市図書館が抱えている現状と課題の整理を行います。その中の一つの要素としてみずほハスの花図書館効果検証報告書、千葉市図書館に関する市民意識調査報告書があるということです。これだけで、新たな図書館計画を策定しようとは考えていません。あくまで現状と課題を整理していく上での一つの資料と考えています。

十倉委員 お答えはわかります。理屈ではわかりますが、一つの要素にしては分量が多いと思います。

庄司委員長 よろしいでしょうか。他にございませんでしょうか。

ご報告いただいた平成 31 年度予算及び事業計画について、来年度の図書館評価におけるサービス取組項目の設定のための基礎資料となる、ということですので、よろしく願います。

《議事(2) みずほハスの花図書館効果検証報告書(素案)について》

庄司委員長 続きまして、議事(2)みずほハスの花図書館効果検証報告書(素案)について、事務局から説明をお願いします。

平岡管理課担当課長 《みずほハスの花図書館効果検証報告書(素案)について概要版に沿って説明》

庄司委員長 みずほハスの花図書館効果検証報告書(素案)について説明がありましたが、このことについて、ご質問・ご意見がありましたら願います。

吉野精一郎委員 公共施設の空きスペースを活用した施設整備が挙げられていますが、みずほハスの花図書館を整備した花見川区役所には、なぜそのような空きスペースがあったのでしょうか。

また、既存施設の活用や複合化は老朽化した図書館施設の再整備に有効な手法であるとしていますが、今後、老朽化した図書館を公共施設の空きスペースに充てていくというイメージは、公共施設に空きスペースがたくさんあることが前提で行われていると思うのですが、そのあたりはどうでしょうか。

地元根差していくということは、これまでの地区図書館・分館を細分化して色々な場所に散らしていくという将来像なのでしょうか。

平岡管理課担当課長 いただいた3点の質問について回答します。

花見川区役所の空きスペースについてですが、以前は各区役所に税務部門がいましたが、現在は美浜区役所内の西部市税事務所と、若葉区役所内の東部市税事務所に統合されています。花見川区役所にあった税務部門が、美浜区役所内の西部市税事務所に移転した関係で、税務部門が入っていた部分が空きスペースとして空いたというのが一つ大きいところです。

公共施設の空きスペースについてです。今後、皆様の意見を伺いながらになりますが、まず資産経営の観点からは、新たに図書館を単体で整備するのは難しい状況です。人口が減少し、千葉市の財政も楽観視できない状況で、資産経営の観点からは、市全体の公共施設の面積、規模を縮小していく方針が示されています。そうした中で、今後老朽化が進んでいく公共施設の複合化や既存施設の統合をしていくことにより空きスペースができると考えます。いずれにしても、今ある図書館を利用されている方との関係もありますので、大きく利便性を損なわないような形で進めていきたいと考えています。

細分化についてですが、基本的には、現在利用されている方のことを考えると、

直ちに図書館をなくすということは難しいです。

ただ、老朽化していく施設を再整備する際に、資産経営の観点から、今後はある程度施設規模は縮小等を考えざるを得ないと思います。細分化に当てはまるかはわかりませんが、例えば三省堂書店そごう千葉店の図書返却ポストの設置等をこれまで進めてきましたが、今後そのような図書返却ポストや、場合によってはコンパクトながら予約資料の貸出ができるような、サービスを限定したサービスポイントの設置はありえると思います。

現時点では、図書館を細分化する方向については、機能を限定した新たなサービスポイントを設置することにより、市民の皆様の利便性の向上を図る方向で考えています。

吉野精一郎委員 既存の図書館は施設規模が大きいので、空きスペースを探しながらでは、1号館、2号館、3号館など分けるようなイメージでないと入らないと思います。既存の公共施設に大きな空きスペースが出てくるということは今後ないと思いますし、予算的にも難しいということですから、細分化・分散化のイメージで受け取るのは間違っているでしょうか。

平岡管理課担当課長 ご指摘のとおり公共施設だけで考えると限界があると思います。ただ、公共施設だけではなく、商業施設等も含めて広く考えています。なかなかテナントが入りにくいところもありますので、そういうところで図書館の近隣など立地条件に合えば考えていこうと思います。既存の地区図書館の機能を細かくしていくというより、その立地に合わせ、地域の中の資産をよく見て再整備していく、というところを考えています。

吉野精一郎委員 細分化とは言い切れないのでしょうか。

平岡管理課担当課長 例えば、よく議論になるのが、稲毛海岸駅や海浜幕張駅周辺には、美浜図書館や打瀬分館がありますが、検見川浜駅周辺には図書館機能がありません。そういった図書館機能がない場所については、例えば駅前の商業施設を活用して、貸出や返却ができるサービスポイントができれば、補完することができると思います。厳しい財政状況の中で今後進めていけるか、ということはあると思いますが、資産経営の観点から規模を縮小する中で財源を生み出して利便性のある施設をつくるという方向かと思います。どうしても予算を増やすということは、このご時世なかなか難しい状況ですので、ある部分は効率化を考慮して進めていく一方で、利便性の高い施設を整備していくイメージで考えています。

吉野精一郎委員 ありがとうございます。

庄司委員長 他にございますか。

十倉委員 第4 効果検証の結果 1(2)について、民間の創意工夫により、利便性の向上を実現できた、とありますが、ご説明いただいた中にもあったとは思いますが、改めて民間の創意工夫とはどういうことか、利便性の向上とはどういう部分か教えてください。

平岡管理課担当課長 さきほどご説明をさせていただいた部分でもありますが、例えば月

曜日は一般の図書館は休館ですが、みずほハスの花図書館は、民間の委託事業者のご提案で月曜日開館を実現しています。

また、私が委託事業者に聞いたところですが、全国的に図書館業務を受託しているので、いろいろな地域のそれぞれの図書館の特徴をよく知っています。また、そのネットワークを活用し、いろいろな人とのつながりがある中で、今まで市ではできなかったような各種事業もできていると思います。

民間事業者の創意工夫については、月曜日は本来であれば休館日であったところを開館することができた、という部分が大きいと考えています。

十倉委員 企画事業については、たしかにみずほハスの花図書館の事業は、少し違う観点があり、私も良いと思っています。

ただし、地域密着ということを見ると、民間事業者の方がその地域のことをどこまでわかるのかな、と思います。市の職員の方でも、その近くにお住まいでなく、遠くからいらっしゃる方もいるとは思いますが、そういう方でも、市の図書館で仕事をされていれば、それなりに千葉市への愛着や気持ちがあるのだと思います。

昨日のみずほハスの花図書館に行ってきました。2年経ちましたが、いつまでもお客様扱いです。例えば市の図書館ですと、頻繁に行く図書館であれば、よく話をすることもできて、こういう本もある、とか話ができますし、地域のことをこちらからお話することもできるので、市の図書館の方が、やりとりがスムーズだと思います。

例えば企画に関しても、ハスの花の展示などもされていたと思いますが、あの場所でハスの花の展示をやるのであれば、東京大学の施設もありますので、そこをメインにやるはずが、なぜか千葉公園のことがでている等、感触として事業者がやられるとずれていると思うことが多いです。

もちろん月曜日開館ができたというメリットもあるとは思いますが、課題はここに挙げられている以上に、もう少し根深いものがあると感じています。

平岡管理課担当課長 ご意見ありがとうございます。たしかに地域への密着という観点で言えば、やはり市の職員の方が近いと思います。公務員、特に市職員は、地域の人の考えを聴いて、政策に反映させることを求められていますので、どうしても地域への密着という部分では市の職員の方が優れている部分はあります。

ただし、地域密着の事業の例では、花園公民館に花見川地元を学ぶ会という団体があり、その関係の方について私たちが情報を入手して、民間事業者と情報を共有し、今年度、実際に企画展示なども実施しています。お話いただきましたとおり、民間事業者の強い部分もあれば、公共側が強い部分もありますので、そのあたりはお互いの強い部分を活かせるような形で役割分担をしていくのが大事な観点だと考えています。

また、地域資料の充実について簡単にふれていますが、みずほハスの花図書館は、開館から間もなく歴史が浅い分、まだ地域資料は少ないと思います。しっかり地域に入り込んで資料を集めていきたいと考えています。

青柳委員 主な課題で、自動貸出機の利用率の向上があります。利用率を見るとおよそ

60%となっていますが内訳を知りたいです。自動貸出機を利用している人が 60%、利用していない人が 40%なのか、それともケースバイケースで利用されている人がいるのでしょうか。もしくは、貸出した本のトータルで見ると、窓口での手続きが 40%、自動貸出機が 60%ということなののでしょうか。要するに自動貸出機を利用されている方の属性までわかっているのか教えてください。

次にタブレット端末の活用が低いということですが、タブレット端末は本を貸出する際に使うものなのか、それとも単に情報を検索するためのものとして置いているのか、教えてください。

自動貸出機について、5年間で18万2千円投資効果があったとあります。この結果について、5年間で算出したのは、たまたま5年間で投資額と効果額がトントンになったから5年間で算出したのでしょうか。それとも、そもそも自動貸出機が5年間の償却期間だったので、その観点から計算したのか教えてください。

平岡管理課担当課長 3点ご質問をいただきました。

1点目、自動貸出機の利用者の属性ですが、内訳までは把握できていません。ただし、利用者の人数の割合もおおよそ 6~7 割程度だと思います。実際に、利用している人がケースバイケースで使っているのか、というところまでは把握はできていません。

2点目、タブレット端末の利活用ですが、お話にもありましたとおり、基本的には情報入手手段のものです。例えば、みずほハスの花図書館では新聞を置いていませんので、ニュースに関する情報もタブレット端末で見られるという形にしています。

3点目、自動貸出機の投資効果の算出期間についてです。自動貸出機は基本的に5年間のリースであり、その期間で償却するという前提で、5年間という期間で投資効果を算出しています。

青柳委員 自動貸出機の利用率の向上についてですが、利用していない人は、なぜ利用していないのか、把握することが大切だと思います。やはり、利用していない方の属性等、そこのところを見ないと、なかなか利用されないと思います。

平岡管理課担当課長 おっしゃるとおりで、今後自動貸出機の利用率を増やすための対策をとるには、利用していない理由等の分析にかかっていると思いますので、今後考えていきたいと思っています。

様子を見ていると、高齢者でも情報機器に慣れている方は、パツと使って便利だとなるのですが、情報機器に慣れていない方もいますので、そういう方に対して、どういうアプローチをしていくのが効果的なのか、ということも今後考えていきたいと思っています。

小林中央図書館長 自動貸出機について補足で説明させていただきます。次の議事の千葉市図書館に関する市民意識調査報告書で、後ほど説明もさせていただきますが、自動貸出機の導入について良いか、悪いか聞いたところ、年齢別に見ると 70 代以降の方に拒絶感が強い傾向が出ています。みずほハスの花図書館については、細かく年齢別にデータをとることは、プライバシーの問題もありできませんが、無作為抽

出で行った市民意識調査で、自動貸出機について調べた結果、やはり高齢者はあまり使う気になれない、ということだと思います。みずほハスの花図書館効果検証と市民意識調査の結果をマッチングして見ていくということをお願いしたいと思います。

庄司委員長 他にございますか。

石渡委員 みずほハスの花図書館効果検証報告書に関して、結果がA、B、Cで出ており、他の図書館と比較していますが、他の図書館というのは平均を出しているということでしょうか。その説明を探したのですが、見つけれませんでした。千葉市にもたくさん分館があり、それぞれ個性もあると思いますし、他の図書館としてまとめるのも乱暴という気がします。また、自動貸出機を置いている館と置いていない館を比較してもしょうがないのではないかと思います。そのあたりはいかがでしょう。

平岡管理課担当課長 他の図書館分館については基本的に平均値でとっていますが、定義がもれていることがあるかもしれませんので、もう一度確認します。

自動貸出機に関する他館との比較ですが、自動貸出機を置いている館は、千葉市内ではみずほハスの花図書館のみのため、他館との比較はできません。ただし、みずほハスの花図書館の来館者数や貸出冊数などの数値を絶対数であげても、比較がないと、その数値がどういう意味をもつかわかりませんので、他の分館の平均値を出して比較をしているということです。

石渡委員 経費の分析についてです。窓口業務委託化と自動貸出機導入の効果が一緒に書いてありますが、自動貸出機は窓口業務委託の事業者が用意しているのではなく、千葉市が準備しているのですよね。

平岡管理課担当課長 そのとおりです。

石渡委員 ですので、他の分館にも自動貸出機を置いてから比較の方が公正であると思いますがいかがでしょうか。窓口業務委託をしたから自動貸出機がある、という意味ではないと思うのですが、そのあたりはいかがでしょう。

平岡管理課担当課長 窓口業務省力化の部分で言えば、基本的には窓口業務委託化と自動貸出機導入の部分がありますので、今回は両方を記載したのですが、わかりにくい部分があれば、今後、概要版を公にする段階までに検討していきたいと思います。

今回は、みずほハスの花図書館で取り組んだ業務の効率化の部分で、民間機能の活用と自動貸出機による業務の省力化がありましたので、その2つを合わせた形でどういうサービス向上が図れたのか、という分析の仕方をしたため、こういったまとめ方になっています。

庄司委員長 他にございませんでしょうか。よろしければ議事(3)に入りたいと思います。

《議事(3) 千葉市図書館に関する市民意識調査報告書(素案)について》

庄司委員長 続きまして、議事(3)千葉市図書館に関する市民意識調査報告書(素案)について、事務局から説明をお願いします。

平岡管理課担当課長　　《千葉市図書館に関する市民意識調査報告書(素案)について  
概要版に沿って説明》

庄司委員長　　千葉市図書館に関する市民意識調査報告書(素案)について説明がありま  
したが、このことについて、ご質問・ご意見がありましたらお願いいたします。

倉沢委員　　概要版5ページ、「5 モデル図書館の特徴を反映させることへの評価 ③蔵書  
数減でも読みやすい本を揃える」とありますが、読みやすい本とは一体どういう本を  
想定しているのでしょうか。例えばタレント本みたいなものを考えているのでしょうか。  
図書館として、そういった本が1冊もなくともいいとは言いませんが、読みやすい、いわ  
ゆるタレント本ばかりを揃えてしまったら図書館としてどうなのでしょう、ということに  
なってしまうと思いますが、いかがでしょうか。

平岡管理課担当課長　　ご指摘いただいた事項につきまして、まさにそのとおりだと思います。  
新たな図書館計画の中でも、今後こういった蔵書構成にするかという点について併  
せて御意見をいただければと思います。

また、地域情報の収集・保存を挙げさせていただいていますが、インターネットで  
簡単に調べることができる情報だけではなく、地域に埋もれている情報など、インテ  
ーネットからは収集できないローカルな情報等を今後保存・提供していかないとはいけ  
ないと思います。そういう観点からも、読みやすい本だけ揃えれば良いとは考えてい  
ません。

ご指摘いただいたとおりだと思いますので、そういう方向で検討していきたいと思  
います。

小林中央図書館長　　いまの説明に補足をさせていただきます。市町村が運営する図書館  
である、ということ的前提に考えたときに、例えば国立国会図書館や県立図書館等  
と相似形の蔵書構成とすると、我々は蔵書数が限られてくるので、なんでもあるけ  
れどたいしたものがない、という中途半端な図書館になる懸念があります。それはま  
ずいだろうということで、いわゆる高度に専門性の高い本等を除いた蔵書構成という  
意味合いで「読みやすい本」と表現しています。なかなか誤解が多いのですが、決  
して無料貸本屋のような借り手が多ければ何でも良い、ということでは考えていま  
せんのでご理解をいただければと思います。

十倉委員　　今のご意見と同じような内容ですが、このアンケートの設問は誘導されると思  
います。例えば、問 10 窓口業務の民間事業者の活用に始まる問がありますが、み  
ずほハスの花図書館の特徴をまず挙げ、それについてどう考えるか、という設問は  
ごく偏った意見をとりとうとするように私は思いました。

このアンケートはすでに実施していますから、またやり直してくださいというわけに  
はいきませんので、今後も同様のアンケートがあるようでしたら、設問は広く意見を  
伺えるようにしていただきたいと思います。

小林中央図書館長　　いまご意見いただいたことについて、そういうことを感じられるのは致し  
方ないかと思えます。

ただ、今回の市民意識調査は普段から図書館をご利用いただいている方に対し

でだけアンケートをしたいということではなく、図書館を利用しない方に、なぜ図書館に来てくれないのか、どうしたら図書館を使いたいと思っているか、ということを目眼に行った調査です。

その際に、今の図書館と違う新しい図書館のイメージが湧かない人たちに、どのように問いかけるか、ということを考えています。

千葉市で今までと違う図書館として整備した、みずほハスの花図書館で実施した取組みについてどう思いますか、という問いかけをしないと、ただ漠然とどのようなものが良いと思いますか、と問いかけをしても、なかなか答えにくいと思い、こういう形にしました。

ただ、この結果を「良いと言っている」と、全面的にゴリ押しをするつもりはなくて、今ご指摘いただいたように、我々の聞き方によってこういう答えが出たのではないか、というような意見を勘案しながら、委員の皆様にご協議をいただきたいと思っております。

十倉委員 図書館を使っていない人に対して、ということもわかりますが、図書館を使っていない人は、おそらく今ある普通の市の図書館もどういものかわかっていないかもしれないですから、そちらを例に出してほしかったと思います。

いろいろと勘案して、とおっしゃいましたが、今まで長く図書館協議会の委員をさせていただいている中で、もちろん意見が反映されることもありました、みずほハスの花図書館が開館するときもそうですし、なかなか図書館協議会で出た意見が反映されず、それもとて大変だと思うことが、なくなっていると思います。

例えば、窓口業務委託や指定管理者制度に関しては、図書館協議会でも意見具申を出したこともあります。そういうことがなくなっていき、「みずほハスの花図書館良いですね。では、こういう風に他の図書館もしていきましょか」というような安易な動きはすごく心配です、やめていただきたいと思っております。

小林中央図書館長 さきほども申し上げたとおり、ゴリ押しをするつもりはございません。

なおかつ、指定管理者制度の話も今ありましたが、我々は業務委託と指定管理者制度は全く別のものだと思っております。指定管理者制度は、選書から何から我々の魂の部分委ねるといことになると思っておりますので、全く考えていません。事務局での考えのため、保証できるわけではないですが、我々としては考えていません。

ただし、人件費の高騰等、議事(1)平成31年度予算でもお話ししましたが、なかなか難しい状況にもなっています。やりたいことと、やれることの間で、どのように帳尻をつけていくか苦悩しているところです。なかなか、いただいたご意見のとおりにならない部分もあるかと思っておりますが、精一杯考えた中で、そうになってしまうということもあるかと思っておりますので、納得いかない折り合わない部分もあるかと思っておりますが、我々としてはそういう状況です。

庄司委員長 電子書籍についてです。例えば、利用者にとっては図書館に来なくても資料が借りられますし、図書館側にとっても配架など管理面でのコスト減等、良い面もあ

りますので、これからの図書館では、新しいものについても積極的に取り入れるようにしていただけると嬉しいと思います。

青柳委員 一般の方が使うどんな施設でも便利な方が良いに決まっています。「便利になりますか」と聞けば、「便利になるなら良い」という答えになりますし、このアンケートは、そういう結果が反映されていると思います。

これからの図書館がどうあるべきか考える際に、やはり今の図書館は不便である、ということがあると思いますが、不便なのは図書館だけではありません。例えば、競馬の馬券を買うときに、今は実際に馬券場に行かないわけです。それに関わらず馬券の売り上げが伸びているということは、インターネットで買っているということになります。買物でも通販で行い、わざわざお店に行かない人が増えているのであれば、図書館でも本を借りるために、わざわざ図書館に行くのは不便だから、図書館に行かなくても本を借りられるシステムを求めるのは当然だと思います。

しかし、こういう場で議論する一番根本的なことは、では図書館は本当に本を貸出するだけの場所なのか、ということだと思います。そういうものとは違う図書館をどう作っていくのかということが、求められていると思います。利便性というよりも、図書館はこういうことができる、という部分を考える必要があると、アンケートを見ていて思いました。

小林中央図書館長 我々もおっしゃられることを感じています。

さきほども少しお話をさせていただきましたが、我々は市町村が運営する図書館のため、国立国会図書館等のような蔵書構成にすると、なんでもあるけれど中途半端になってしまいます。そういう専門的な資料で勝負をする、あるいは、インターネットが普及して色々な情報が得られる状況で、図書館への需要が減っているわけですが、そこを google 等と真正面から戦って勝負しようということをして意味がない。市町村の図書館が、市町村ならではの図書館をつくっていく必要があると思っています。

今のところ決定ではないのですが、我々としては、「地域情報」が一つのキーワードになると思っています。ローカルな情報はなかなかインターネットでは出てきません。そして、そういった地域情報を収集、保存、整理して意味付けをすることで、地域コミュニティの課題解決などに役立つ図書館というものもあると思っています。

図書館があるところに来てもらうということではなくて、地域コミュニティが集う場所に、図書館が出向いて行き、そこで悩んでいる方々に情報を提供して、役立ててもらおう、ということもあると思います。館ありきではなく、ハード・ソフトが一体となった計画を作っていくということが、今回の計画策定にあたり思っているところです。まだ、事務局が考えているところですが、目指しているところは、そういったイメージで考えています。

石渡委員 問 11-3 読書が好きな子どもたちを育む上で図書館が担うべき役割に関する設問があります。この設問を大変残念に思いました。図書館サービスに欠くことができないものとして、人・施設・資料が挙げられますが、この設問では施設と資料のこ

とは書かれていますが、人の充実については書かれていないと思います。職員の資質がとても重要だと思います。特に読書が好きな子どもたちを育むのでしたら、やはり大人の手が必要だと思います。そのことが一切書かれていません。図書館が書かれた設問としては、非常に残念だと思います。これについては、どうお考えですか。

平岡管理課担当課長 人の部分が大切だということは重々承知しています。これまでの図書館協議会でもありましたとおり、今後は人の育成は重要であり、図書館は人の良し悪しで、サービスの良し悪しが決まると言っても過言ではないと思います。ご指摘のとおり人の育成は今後大事な部分という認識ですので、しっかり考えていきたいと思えます。

石渡委員 やはり、アンケートの設問を作る前に、そういうことを考えていただきたかったと、すごく思います。本当に残念に思います。

亀山委員 千葉市図書館に関する市民意識調査報告書(素案)を拝見させていただき、館長も先ほど言われましたが、図書館を利用している方だけでなく、利用していない方からも意見を聴くということは、非常に大切だと思います。

設問に関しましては、文言にしていまいますと、このような内容になると思えますが、アンケートの中には「その他」という選択肢にあてはまらない回答もありますので、「その他」の中に表れているご意見を十分にお考えいただいたうえで、運営等に反映していただくなど、ご検討をお願いしたいと思います。

庄司委員長 他にございませんでしょうか。よろしければ議事(4)に入りたいと思えます。

《議事(4) 新たな図書館計画の審議スケジュール(イメージ)について》

庄司委員長 続きまして、議事(4)新たな図書館計画の審議スケジュール(イメージ)について、事務局から説明をお願いします。

平岡管理課担当課長 《新たな図書館計画の審議スケジュール(イメージ)について説明》

庄司委員長 新たな図書館計画の審議スケジュール(イメージ)について説明がありました。このことについて、ご質問・ご意見がありましたらお願いいたします。

十倉委員 4回の図書館協議会を予定されていますが、先ほどの諮問に対する答申の作成も、図書館協議会の中でやっていくのでしょうか。作成は具体的に、誰がどのようにやっていくように考えていますか。

平岡管理課担当課長 答申については、新たな図書館計画の案という形でまとめて、その内容について答申をいただくことを考えています。文書の作成などは、基本的に事務局で作成し、必ず委員の皆様にお示しをして、ご意見をいただきながら、修正等をしていくという流れで考えています。

十倉委員 4回の図書館協議会とは別に、例えば評価部会のような小さいグループを作って検討、作成するというのではなく、事務局から示されたものに対して、協議会で意見をすることですか。

平岡管理課担当課長 現在のところはそのように想定しています。

吉野精一郎委員 パブリックコメント手続きについてはどのように考えていますか。

平岡管理課担当課長 規定上、パブリックコメント手続きを行うことが義務付けられていますので、答申の後に、パブリックコメント手続きの実施を考えています。

吉野精一郎委員 12月の後に実施ということですか。

平岡管理課担当課長 その予定です。よろしく願いいたします。

庄司委員長 その他はよろしいでしょうか。それでは議事を終了します。

#### 《その他》

庄司委員長 続きまして、次第の4「その他」ですが、私の方から提案がございます。

今後、図書館の評価を執り行うに当たりまして、「外部評価部会」の部会員選出をしたいと考えますが、いかがでしょうか。

ありがとうございます。それでは、千葉市図書館管理規則第26条第2項により、部会員に関しましては、委員長が指名することと規定されておりますので、私から指名させていただきます。

前回も外部評価部会員を務められた十倉委員、それから、従前の外部評価部会においてご協力いただいております方が所属されていた、千葉市ネットワーク協議会と千葉市文庫連絡協議会から就任されました吉野知義副委員長と、石渡委員に新たにご紹介させていただきたいと思っております。以上3名で構成したいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

ありがとうございます。部会員の皆様、よろしくお願いします。

なお、外部評価の作成は、今年6月頃を予定しているとのことです。スケジュールや具体的な作業手順につきましては、事務局から改めてご連絡をお願いします。

事務局から何かございますか。

作田管理課長 2点、ご報告・ご連絡がございます。

この3月末をもって、中央図書館長の小林、花見川図書館長の南雲、若葉図書館長の須田、美浜図書館長の中田、緑図書館長の深山が退職となります。

つきましては、各館長よりご挨拶をさせていただきます。

#### 《5 館長あいさつ》

小林中央図書館長 2点目ですが、次回の協議会についてですが、新たな図書館計画に関するご審議をお願いしたいので、本年5月に平成31年度第1回図書館協議会を開催したいと考えております。日程等は、改めて調整をさせていただきますので、お願いいたします。

また、例年どおり平成30年度の図書館の評価をお願いしたいので、本年7月に平成31年度第2回図書館協議会を開催しご審議をいただきたいと考えております。

最後に、さきほど外部評価部会員にご就任いただきました、吉野知義副委員長、石渡委員、十倉委員におかれましては、本年6月頃に図書館外部評価の作成についてご依頼をさせていただきます。作成いただいた外部評価の内容をもって、本年6月下旬～7月上旬頃に、外部評価部会を開催させていただきますので、ご多

用のところ恐縮ですが、併せて御出席をお願い申し上げます。事務局からは以上です。

庄司委員長 ありがとうございました。他に委員の方からも何かございませんでしょうか。

他にないようでしたら、以上をもちまして、本日予定しておりました議事は終了いたします。限られた時間の中で、貴重なご意見をありがとうございました。

また、議事の進行に対しまして、皆様方のご協力をいただき、誠にありがとうございました。最後にお時間をいただき、私から一言ご挨拶を申し上げます。

《庄司委員長あいさつ》

庄司委員長 それでは、進行を事務局にお返しします。

進行 ありがとうございました。本日は、慎重なるご審議をいただき、誠にありがとうございました。以上をもちまして、平成 30 年度第 3 回図書館協議会を閉会いたします。

なお、本日の議事録につきましては、事務局で議事録案を作成し、委員長の承認をいただいて確定としてよろしいでしょうか。確定いたしましてから、委員の皆様にお送りいたします。

本日は長時間にわたり、慎重なるご審議をいただき、誠にありがとうございました。

<閉会>

【問い合わせ】

千葉市教育委員会事務局

生涯学習部中央図書館管理課

TEL 043-287-4081